

公民館ふるさと教育推進事業

【現状】

○学校のふるさと教育に関わっていない公民館等は、全体の53.4%(300館中160館)

○大人を対象としたふるさと教育を実施している公民館等は、全体の36.5%(323館中118館)

【H26公民館実態調査より】

【課題】

○学校で学んだことを更に深めたり、学んだことを活かして実践したりすることで、子どもの地域への愛着や誇り、地域貢献への意欲を高める必要がある。

○地域の大人がふるさとの魅力や価値について再認識し、次世代につなげるとともに担い手を育成する必要がある。

【趣 旨】

中学校区単位の公民館等が連携して地域住民(子ども・大人)を対象としたふるさと教育を行うことで、ふるさとに愛着と誇りをもち、次世代に伝え、守っていかうとする人材を育成する。

【事業内容】

(1)中学校区で育てたい子ども像を共有して、公民館ふるさと教育を実施

○学校のふるさと教育を発展、補完、深化させる生涯学習、社会教育事業を実施する。

○子どもたちに伝えたい地域のよさや体験させたいこと、考えてもらいたい地域課題などを検討し、それらをテーマ・題材した事業を実施したり、学校に提案したりする。

(2)大人が地域のよさを学んだり体験したりするふるさと教育を実施

○ふるさとの現状や歴史に改めて向き合うことで、その魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を提供する。

○ふるさとの「ひと・もの・こと」を次世代に伝え、守っていく活動を実施する。

中学校区単位



A公民館



B公民館



C公民館



D公民館

地 域 住 民

育てたい子ども像を共有した事業の実施

○学校で学んだことを実践できる場を設定
(例)発表会の開催、ボランティア体験の実施 など

○学校の学びをさらに深める場の設定
(例)ふるさと学習会、ふるさと探訪、講演会 など

○子どもたちに伝えたいテーマ・題材の事業実施
(例)史跡探訪、郷土料理教室、子どもサミットなど

大人が地域のよさを学んだり体験したりする事業の実施

○ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

(例)ふるさとの自然・歴史などを学ぶ講座、ふるさとの名所・旧跡探訪、ふるさと検定 など

○ふるさとの「ひと・もの・こと」を次世代に伝え、守っていく活動の実施

(例)ふるさとガイド養成、ふるさとフォーラム、伝統文化の復活・継承、名所・旧跡の保護活動、ふるさとPRマップの作成 など

ふるさとを愛し、誇りをもち子ども
ふるさとに誇りをもち、次世代に伝え、守っていく大人

H29年度:27地区(中学校区)